

2008年6月26日

宮城県議会  
議長 高橋 長偉 様

政府と国会に対して、原油高騰から国民生活を守る  
緊急の対策を要望する意見書の提出を求める請願書

紹介議員

中村 功

内海 太

小野 喜 幸 正

本多 祐一 朗

横田 有 史

#### 要旨

1. 原油価格高騰による消費者への影響を緩和するため、石油製品の便乗値上げの監視を強化し、生活必需品である灯油の安定的な供給体制の確保と価格安定対策を講じること。
2. 国内の石油元売会社に対し、石油製品の需要予測を踏まえた適正な在庫水準の維持など安定的な石油製品供給体制の確保を要請するとともに、調査・監視・指導を強化し、消費者に対する情報提供を積極的に行うこと。
3. 石油への依存度が高い農林漁業、運輸業等、産業用の油種の安定供給を図り、価格安定対策を講じること。
4. 石油依存度を引き下げるエネルギー政策に転換し、省エネルギーの技術開発と実用化など、省エネルギー化政策を推進すること。
5. 原油価格高騰の要因となっている投機資金の流入への対応について、日本が率先して各国と連携し、国際石油市場の安定に向けた国際協調を推進し、原油先物市場の透明性の向上を図ること。

#### 理由

不安定な中東情勢、中国やインド等の経済発展に伴う世界的な需要の拡大、原油先物市場に流入する投機資金などが要因とされる原油価格の高騰は、史上最も高い水準にあり、一向に沈静化の兆しが見えません。今こそ、日本政府が各国政府と連帯・協調して、エネルギーの安定供給に向け全力を傾けるべき時です。

原油価格は、国際指標とされるニューヨーク商業取引所の先物価格で1バレル=130ドル超の高値が依然続いています。国内の石油製品価格も2004年初頭に比べて全国平均でガソリンが5割高、軽油が6割高、灯油が2倍超などと軒並み上昇しています。花き等の施設園芸や漁業者、燃料油を使う事業者などから、“これでは経営がたちゆかない”と、悲鳴が上がっています。

国民生活にも重大な影響が出ています。ガソリン代の高騰に加え、県内配達灯油価格がすでに1リットル120円を越えています(6月10日石油情報センター調べによる)。このままの高値が続くと、厳しい冬の需要期、暖房用の灯油が生活必需品となっている北海道・東北などの地域では、灯油代の値上がりがまさに庶民の家計を直撃します。

原油価格高騰の影響はこれだけにとどまりません。原材料費や穀物価格の高騰ともあいまって、食料品から日常生活用品にいたるまで価格上昇を招き、この動きは、消費者物価全般へ波及しつつあります。原油価格の高騰は、まさに国民のくらしと地域経済を直撃し、日本経済全体の先行きにとって重大な問題となっています。

つきましては、貴議会から内閣総理大臣及び各関係機関に対し、意見書を提出していただきたく、お願い申し上げます。

以上

請願者

宮城県協同組合こんわ会

住所 仙台市青葉区上杉 1-2-16

氏名 宮城県農業協同組合中央会会長 木村春雄



住所 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台

氏名 宮城県生活協同組合連合会会長理事 芳賀唯史



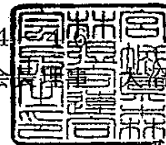
住所 石巻市開成 1番27 宮城県水産会館

氏名 宮城県漁業協同組合経営管理委員会会長



住所 仙台市青葉区上杉 2-4

氏名 宮城県森林組合連合会会長理事 森田迪義



住所 仙台市青葉区本町 2-16-12 仙台商工

氏名 日専連宮城県連合会会長 山口哲男

